

柴原地域包括支援センター事業評価報告書

大項目	中項目	小項目	自己評価		外部評価・コメント	
			※ <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> できていない		※ <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> できていない	
1.組織・運営体制	(1)組織・運営体制	① 市が定める運営方針の内容に沿って、センターの事業計画を策定している。	<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>	
		② 市の支援・指導の内容により、逐次、センターの業務改善が図られている。	<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>	各担当専門職がそれぞれの分野の計画案を出し、会議の場で全体検討した上で、計画の策定に繋がられています。 地域課題への取組として「みんなの保健室」事業が展開されています。オンラインを活用した介護支援専門員向けの研修拡充に努められています。 校区毎の課題を抽出した企画シートと、法人としての重点項目シートを作成し、圏域内の地域課題を踏まえた重点業務の策定に繋がられています。 法人全体としての研修計画、施設としての研修計画、それぞれを踏まえた上で、共通した部分は組み込まれ、かつ地域包括支援センターとして必要な研修を計画に反映されています。 地域教室や出前講座の場で、積極的な周知に努められています。ローラー作戦では、個別に説明等が行われています。新規事業所等には、場の提供等も含めた案内や協働に向けた話し合いが行われています。
		③ 把握した担当圏域の現状やニーズに基づき、センターの実情に応じた重点業務を明らかにしている。	<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>	
		④ 市から配置を義務付けられている3職種を配置している。	<input checked="" type="checkbox"/>	・市が定める運営方針に沿ってセンターの事業計画を策定した。 ・コロナ禍の中の新しい生活様式を踏まえた取り組みの工夫として「みんなの保健室」、オンラインによる会議・研修開催を行なった。	<input checked="" type="checkbox"/>	
		⑤ 評価期間中に職員の欠員期間がない。	<input checked="" type="checkbox"/>	・企画シート、重点項目シートを活用してセンターの重点業務を明らかにした。 ・オンラインを利用して相談ケースの共有や研修報告を毎朝を行なった。	<input checked="" type="checkbox"/>	
		⑥ センターが職員の研修を計画的に実施している。	<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>	
		⑦ 研修参加記録に基づき、各研修内容の共有をしている。	<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>	
		⑧ 閉所時間でも相談があった場合に対応できる体制が整備できている。	<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>	
		⑨ パンフレットの配布など、センターの周知を行っている。新規に開設された介護事業所、医療機関等に向いてセンターの説明を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>	
(2)個人情報の管理	① 個人情報保護に関する市の取扱方針に従って、センターが個人情報保護マニュアル(個人情報保護方針)を整備し、責任者を配置している。	<input checked="" type="checkbox"/>	・法人より個人情報保護マニュアルが示されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	規程やマニュアルを配布し、職員に周知されています。責任者の設置が確認できました。 市の規程に基づく、保管と持ち出し管理簿が整備されています。	
	② 個人情報を含む記録物を適切に保管するとともに、個人情報の持出・開示時は、管理簿への記載と確認を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>		
(3)利用者満足度の向上	① 市の方針に沿って、苦情受付の責任者を置き、苦情についてきちんと対応できるマニュアル・苦情対応体制等を整備し、職員に周知している。苦情内容や苦情への対応策について記録するとともに、苦情内容を法人に報告している。	<input checked="" type="checkbox"/>	・苦情対応マニュアルに基づいた対応の体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>	対応フローチャートによって、職員に周知され、処理されるように努められています。様式で法人内に共有される仕組みが確立しています。	
	② 相談者のプライバシー確保に関する市の方針に沿い、プライバシーが確保される環境を整備している。	<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>		
2.個別業務	(1)総合相談支援業務	① 地域における関係機関・関係者のネットワークについて、構成員・連絡先・特性等に関する情報をマップまたはリストで管理している。	<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>	
		② 困難ケース等においては速やかに3専門職の専門性をふまえ、かつ共通の判断基準をもって協議した結果を記録に残している。主担当や地域ごとの担当以外においてもケースの概要を把握している。	<input checked="" type="checkbox"/>	・困難ケースの相談受理の際は管理者及び複数職員で対応を協議している。 ・毎月2回、刀根山校区でローラー作戦を実施し、地域の諸団体と個別訪問を行なった。	<input checked="" type="checkbox"/>	毎年更新される市からのリストを基本とし、変更事項等については、随時閲覧共有されています。 重点校区についてはローラー作戦を展開し、ニーズの把握と地域課題の解決に向けた取組が行われています。全校区で高齢部会を開催されています。
		③ 地域の高齢者実態把握調査を行うなど、潜在する支援を必要とする高齢者の把握にあたっている。	<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>	
		④ 緊急性が認められた場合、すみやかに訪問するなど適切な対応を行うとともに、複数職員がいない場合であっても緊急性の判断が行える。緊急性が高い相談については、包括システムの検索画面に印をつけるなど、全職員が把握できるようにしている。	<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>	
	(2)権利擁護業務	① 地域住民や関係者向けの研修等を開催し、成年後見制度の普及啓発を行うとともに、成年後見制度の相談に適切に対応し、利用を支援できている。	<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>	
		② 高齢者虐待対応の必要なケースの判断が包括内でつかない場合であっても、速やかに市と通報内容の共有を行い、対応を協議している。	<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>	
		③ コアメンバー会議等で決定した役割に従い支援の実施中、関係機関等への対応依頼と進捗状況の確認を行うとともに、モニタリング会議・評価会議が適切に開催できるよう、基本情報台帳に最新の情報を記入し、市に報告を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	・虐待対応の初期期においては、相談を受理した職員は、すみやかに多職種職員・管理者に報告・協議のうえ市に報告し、指示を仰いでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	
		④ 地域住民や関係機関に対して、高齢者虐待を防止する研修等を開催し、普及啓発の取組を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>	
		⑤ 消費者被害に関する情報を、民生委員・介護支援専門員・ホームヘルパー等に情報提供する取組を行っているとともに、センターが受けた相談内容について、消費生活に関する相談窓口または警察等と連携の上、対応している。	<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>	

柴原地域包括支援センター事業評価報告書

大項目	中項目	小項目	自己評価 ※ <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> できていない	外部評価・コメント ※ <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> できていない	
2.個別業務	(3)包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	① 担当圏域における居宅介護支援事業所のデータ(事業所ごとの主任介護支援専門員・介護支援専門員の人数等)を把握している。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
		② 介護支援専門員に対するアンケート・意見収集等についての市からの情報提供や、センター独自のニーズ調査に基づいて、研修会・事例検討会等の開催計画を策定している。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> アンケートを基に、研修内容を検討されています。2回の開催が確認できました。社会資源の分類ごとに分別し、多様な情報提供が出来るように努められています。	
		③ 支援困難事例を抱える介護支援専門員に対して、介護支援専門員自身が資質向上できるように支援するとともに、困難事例に対して同行訪問やサービス担当者会議への出席を通じたサポートを行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> ・介護支援専門員から相談があれば同行訪問し、サービス担当者会議に出席して助言、提案している。また、助言後モニタリングを実施して経過を確認している。	
		④ 地域にある社会資源について情報(活動内容、特徴、連絡先など)を把握し、いつでもその情報を提供できるように準備している。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> ・高齢部会にて地域の実情、ニーズを把握し、地域のアセスメントを行い、今後の取り組みについて話し合った。結果を企画シートにまとめ、他の地域情報とともにファイルをして見える化している。	
		⑤ 日常生活圏域ごとに、地域アセスメントを実施し、地域の実情に応じた個別の取組計画を作成するとともに、地域アセスメント結果をファイリングし、全職員が共有できるものとして整理されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	(4)地域ケア会議(高齢部会)	① 圏域内の全ての校区でCSW(コミュニティソーシャルワーカー)と連携し、高齢部会(実務者会議)を開催している。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
		② 高齢部会(実務者会議)において、議事録や検討事項をまとめ、参加者間で共有し、市にも報告している。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 年度末にコミュニティソーシャルワーカーと連携し、次年度の計画策定に繋がられています。開催前には、地域の方々への参加も加えたコミュニティソーシャルワーカーとの話し合いで内容が検討されています。	
		③ 高齢部会(実務者会議)において、地域課題に関して検討。生活支援コーディネーターと地域資源について協議している。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 実務者会議で、生活支援コーディネーターと共に地域課題について検討協議されています。	
		④ 高齢部会(ケース検討会議)において、地域住民が参加し、個別困難事例の支援方針の検討を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	(5)地域ケア会議(自立支援型)	① 地域ケア会議の主旨や目的、開催計画を居宅介護支援事業所へ周知している。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 居宅介護支援事業所に向けた案内が行われており、案内の中で目的・日程等が記載されています。
		② 地域ケア会議の開催方法に応じて、個人情報に適切に扱っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> ・地域ケア個別会議開催計画書を市から居宅介護支援事業所へ周知連絡している。また、会議の事例提供者には随時主旨、目的等を説明している。	
	(6)介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	① 自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントに関し、市から示された基本方針を、センター職員及び委託先の居宅介護支援事業所に周知している。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
		② 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援のケアプランにおいて、保険給付や介護予防・生活支援サービス事業以外の多様な地域の社会資源を位置づけている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
		③ 利用者のセルフマネジメントを推進するため、市から示された支援の手法を活用している。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
		④ 介護予防支援の委託先が、正当な理由なく特定の指定居宅介護支援事業所に偏っていない。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 介護保険以外のインフォーマルな計画を取り入れ作成された計画事例が確認できました。	
		⑤ 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託した場合は、台帳への記録及び進行管理を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 委託先事業所は、利用者の意向希望を踏まえた上で、偏りが生じない範囲から選択されています。	
		⑥ 自立支援に向けた、具体的な目標及び支援内容、期間等を記載した介護予防ケアプランを作成している。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 評価可能で具体的な目標設定が心がけられています。	
		⑦ 介護予防ケアプランの作成後、介護予防ケアプランの実施状況の把握(モニタリング)を実施している。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
		⑧ 介護予防ケアプランの期間終了時には、当該プランの目標達成状況について、評価を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	3.事業間連携(社会保障充実分)	(1)認知症共生・予防支援	① 認知症サポーター養成講座を積極的に開催するなど、認知症の理解、対応方法の普及啓発に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
② キャラバン・メイトの組織化に協力するなど、積極的に認知症ケアに関するネットワークの構築を図っている			<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 3回の認知症サポーター養成講座の開催が確認できました。専門職向けの研修参加、センター内の情報共有が確認できました。	
③ 認知症地域支援推進員を中心に、地域包括支援センターの職員だけでなく、関係機関にも研修等を実施するなど、認知症対応力向上に努めている。			<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
④ 認知症初期集中支援チームと訪問支援対象者に関する情報共有を図っている。			<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
(2)在宅医療・介護連携		① 日常生活圏域ごとの地域特性に応じた取組みを行い、医療と介護の連携に関するネットワーク構築を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 医療・介護の連携による研修会の開催が確認できました。豊中市在宅医療・介護連携支援センター事業運営事業が開催する研修への参加があります。
		② 虹ねっと(連絡会)や豊中市在宅医療・介護連携支援センター事業運営事業が開催する研修等に参加している。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> ・green lab2025世話人会で医療、介護、行政の代表者が打ち合わせを行い、第13回、第14回green lab2025を企画、開催した。その他、豊中市在宅医療・介護連携支援センター運営事業が開催する研修会に3回参加した。	

柴原地域包括支援センター事業評価報告書

大項目	中項目	小項目	自己評価		外部評価・コメント	
			※ <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> できていない		※ <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> できていない	
4.地域の通いの場づくり支援事業		① 介護予防や住民主体の通いの場づくりの必要性について、住民に普及啓発を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	・通いの場の必要性について担当職員以外も理解し、普及啓発する事ができた。体操のポイントについても担当職員以外も理解することができた。	<input checked="" type="checkbox"/>	地域のコミュニティー活動や施設への参画で、普及に繋がられた事例が確認できました。対象グループの特性や状況を踏まえた、伝え方、やり方の配慮がなされており、それぞれの対象にあわせた工夫がなされています。
		② 介護予防や住民主体の通いの場づくりの普及啓発の方法に関して、地域の特性に合わせた創意工夫ができています。	<input checked="" type="checkbox"/>			
		③ 介護予防や住民主体の通いの場づくりの必要性について、担当職員以外の職員も把握し、必要時に協力がとれる体制となっている。	<input checked="" type="checkbox"/>			